

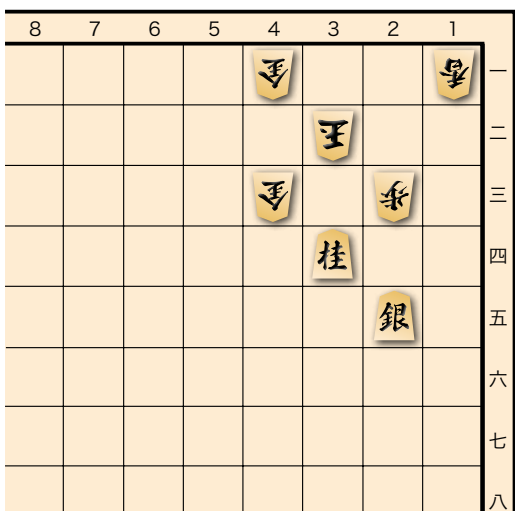
次の一手

答え合わせ

〈第12局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で1級)

ヒント 初手に鬼手



持駒 飛角金香

〈監修〉中田功七段

詰将棋 答え

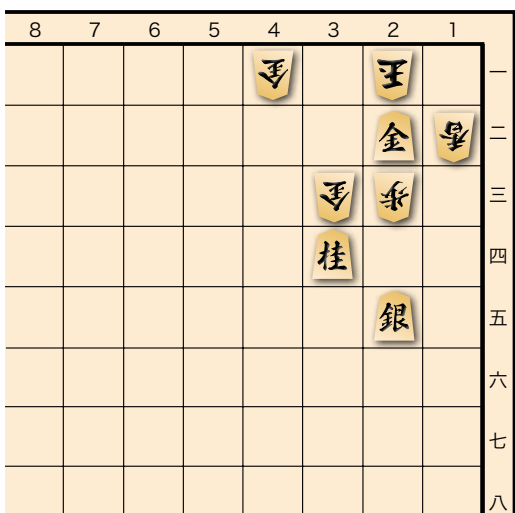
- ▲1 二飛 △同香 ▲3 三香 △同金
- ▲2 一角 △同玉 ▲2 二金までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

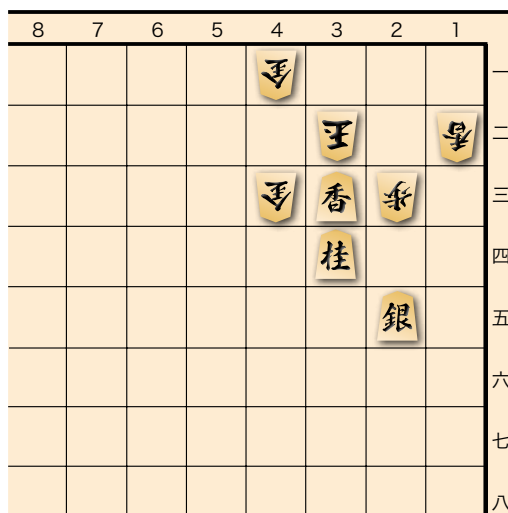
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
 第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



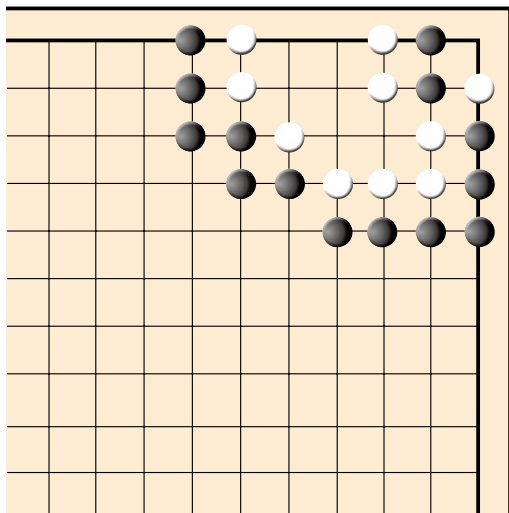
途中図 (▲3三番まで)



(解説) 3三番に△同玉は1一角と離して角を打って詰む(この角打ちのスペースをつくるための初手▲1二飛でした)。したがって△同金と取りますが、今度は2一角と打って頭金です。

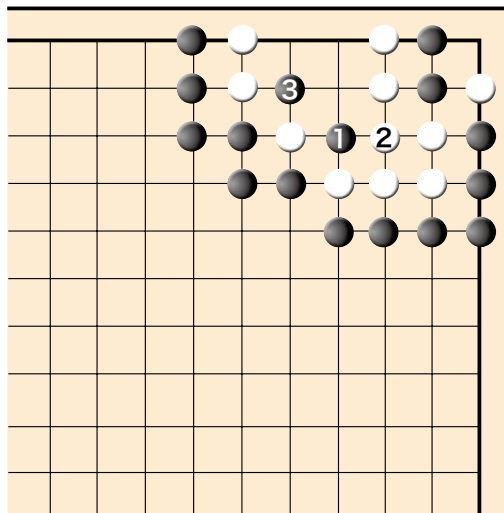
詰碁 問題 黒先白死 (2分で7級)

ヒント 白の形には欠陥があります



〈監修〉畠中星信四段

詰碁 答え



黒1の両アタリが正しい手です。黒3に切ると白に1とつながれて失敗します。

畠中 星信 (はたなか・ほしのぶ)

1987年6月10日生まれ。熊本市出身。

5歳の時、父に近くの碁会所へ連れて行ってもらったことがきっかけで囲碁を始める。

18歳でプロになり、それからは自分の打ちたい手を打つことを心掛けている。最近になり、やっと自分なりの打ち方を見つけられたと感じている。

趣味は将棋。囲碁と共通する部分を探しながら楽しんでいる。

